



西有家小学校だより 13号
校訓 (勤労・勉学・大志)
学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和7年 2月 5日
南島原市立西有家小学校
TEL 73-6741
(文責 校長 大古場)



2月を逃がさず



2月に入り、校庭の白木蓮のつぼみが膨らみ始めています。寒い中でも生命の息吹を感じます。「逃げ月」と言われる2月ですが、簡単に逃がすことなく、学習や運動をしっかりと継続させ、子どもたちにとって充実した2月としていきます。季節的には、インフルエンザなどの感染症対策が続きますので、ご家庭でも「うがい、手洗い、消毒、換気、(マスク着用奨励)」への継続的なお声かけをよろしくお願いします。

積み重ねを大切に

「いま ここ じぶん その合計が 自分の一生」



この言葉は、相田みつをさんの言葉です。「これまで、自分がしてきたことの積み重ねが、今、ここにいる自分をつくっています。だからこそ、これまで上手くいったことも、いかなかったこともすべてに価値があり、無駄なことなど一つありません。」という意味です。

いよいよ、今年度も登校する日が30日を切りました。これまでを振り返って、学校や家庭で上手くいったこと、いかなかったこと、嬉しかったこと、悲しかったことなど様々なことがあったと思います。それらのことがあったからこそ、今、ここに自分がいるのです。そして、今、ここにいる自分がしていることが、次の学年での自分をつくっていきます。改めて子どもたちには、二度と戻らない今を大切に、努力を積み重ねていくことが自分を大きく成長させることにつながることを教えていきたいものです。今の学年での残り30日も学習面や生活面でのより良い習慣を積み重ねていきます。



引渡し訓練実施

2月3日(月)に非常事態発生時における「引渡し訓練」を実施しました。本校では、引渡し訓練を実施するのは初めてでした。実施にあたっては教職員間で十分な事前の打合わせを行っていましたが、実施後には課題となった点もありましたので、緊急事態に備えてしっかりと検討し、改善しておきたいと思います。以下は、訓練実施後に職員から出た主な反省点です。ご確認ください。



(改善したい点)

- ・「引渡しカード」の児童名にふりがなや地区名、自治会名を記入する欄が必要であった。
- ・祖父母の方で、引取りに来た児童の自治会を分からない方がおられた。(引渡し方の事前の周知)
- ・駐車場の入口と出口を知らない方がおられたので周知を徹底したい。
- ・全学年が集まる時など、地区や自治会ごとに並ぶ練習を1学期から行っておく。

今回は、大雨による特別警報が発令されたことを想定した訓練でしたが、他の非常事態として「大地震発生」「不審者対策」などが考えられます。子どもたちだけで下校させることが危険と判断した場合は、今回の訓練をベースにしてお子様の引渡しを行います。この訓練を実施したことで、教職員も保護者の皆様もどのようにして引渡しを行うのかイメージをもつことができ、いざという時の安全で確実な引渡しにつなげることができると思いました。

災害や緊急事態は本当にいつ発生するか分かりません。普段からの備えが何よりも重要となります。ぜひ、ご家庭でもいざという時の対応をお子さんと確認していただければと思います。



当日は、保護者やご家族の皆様のお陰で、引渡しの時間帯(14時40分～15時45分)内において、ご家族の都合でどうしてもお迎えに来れない数世帯を除いては、100%の引渡しを無事に終えることができました。お仕事などで大変お忙しい中に訓練の趣旨にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

※(裏面につづきます)

給食週間（1/24～1/30）～食は全ての基本～

子どもたちが楽しみにしている給食は、日々「南島原市学校給食センター」で作られています。給食週間中の給食放送では、献立作成などで中心となって活躍されている栄養教諭の話もありましたので、ご紹介します。



～水田静世 栄養教諭の話～ 一部抜粋

みなさん、給食はおいしく食べていますか？1月24日から30日まで全国学校給食週間です。学校給食は明治22年、山形県鶴岡町の忠愛小学校というところで、食べる物がなかった子どもたちに、お昼ごはんを出したのが始まりだと言われています。当時の献立は、にぎりめし、焼き魚、漬物という質素なものでした。そこから、学校給食は全国に広がっていきましたが、第二次世界大戦中は食べ物が足りなくなり、給食は中止になりました。戦争が終わっても食べ物がなかったので、日本の子どもたちはとてもおなかがすいていました。

そこで、日本の子どもたちのために脱脂粉乳や缶詰などが送られてきて、昭和21年12月24日に関東の学校で給食が再開されました。そして、12月24日から冬休みに入るため、1ヶ月後の1月24日から1週間を「全国学校給食週間」としました。

西有家町では、一番初めに見岳小学校で給食が始まりました。見岳小学校の中には給食室があったのです。そして、見岳小学校の他に、龍石小学校、長野小学校、慈恩寺小学校、西有家小学校、西有家中学校も学校給食が食べられるようにするために、平成3年に西有家給食センターができました。その後、令和3年9月に、南島原市全部の小中学校の給食を作る「南島原市学校給食センター」ができました。そこでは、毎日南島原市の小中学生約3200人分の給食が作られていて、みなさんのところに運ばれています。（省略）

このように、学校給食には長い歴史があります。作ってくださる方たちの思いは、ずっと「子どもたちに、安全でおいしく、栄養のあるものを食べさせたい」という思いです。食べ物がみなさんのところへ届くには、いろんな人の手がかかっています。野菜を育てる人、牛や豚を育てる人、調理をする人、それを運ぶ人、いろんな人の思いが詰まっています。その思いを受け取って、好き嫌いをしないで何でも食べましょう。時には苦手なものが出るかもしれませんが、苦手な食べ物にもチャレンジしましょう。

「食べることは生きること」と言われます。全国学力調査の結果の中には、朝ごはんをきちんと食べている子どもは、学力が高いという報告があります。一方で、学習に極端に苦手意識のある子どもや非常に自分本位の子どもは、食に偏りがあるというデータもあります。

「食」は全ての基本です。好き嫌いなく食べることは、子どもたちが苦手なことや億劫になるようなことにもチャレンジし、克服しようとする気持ちを育てる第一歩であると考えます。

市学力テストの結果

昨年の12月に実施した「市学力テスト」の結果が送られてきました。結果は、学年別でみると国語科で標準スコア50にわずかに届かなかった学年もありましたが、経年比較では、昨年度の成績より伸びた学年が多くありました。算数科においては、全学年で標準スコアが52以上という素晴らしい成績でしたので大変嬉しく思いました。後日、個人の成績表をお渡しいたしますので、ぜひ目を通していただき、これからのお子様の学習の指針にしてほしいと思います。「学力向上」は、子どもたちの「生きる力」の根幹をなすものであるとともに、子ども



たちの夢を広げ、その夢の実現の可能性を高めるものです。そして、学校の最大の責務であり、保護者や地域の大きな期待でもあります。学校ではこれからも全職員で「分かる授業」に努め、さらなる学力向上を目指します。

※標準スコア…全国の平均正答率を50としたときの換算値で、50を上回っていれば相対的に良好であることを示しています。

表彰おめでとう ～西小っ子のがんばり～

☆「陸上」＜第3回島原半島小学生駅伝大会＞

＜駅伝の部＞ 準優勝 西有家AC ＜☆は、区間賞受賞者＞

1区 西田 伊織 2区☆太田 紘仁 3区 ☆本村 琉樹 4区 松本 峻 5区 川上 琉虎 6区 林田 怜

＜ロードレースの部＞ 高学年女子優勝 松尾 心優 準優勝 中村 杏々果

＜第41回飯盛ロードレース大会＞

4年女子優勝 松尾 心優 5年男子4位 西田 伊織 4年男子5位 西田 壮汰



2月・3月の主な行事予定

2月 5日(水)委員会活動

2月 7日(金)中学校入学説明会

2月10日(月)新1年生入学説明会

2月13日(木)授業参観・学級部会(3年)

2月18日(火)6年生を送る会

〃 社会体育連絡協議会

2月19日(水)全校朝会、クラブ活動

2月20日(木)授業参観・学級部会(5年)

2月21日(金)授業参観・学級部会(6年)

2月27日(木)授業参観・学級部会(2年)

2月28日(金)授業参観・学級部会(1年、4年)

3月14日(金)卒業式予行練習(全学年5校時まで)

3月18日(火)卒業証書授与式

3月24日(月)修了式・離任式

※インフルエンザ等の感染状況により、変更や中止となる場合があります。

